

ビジネスキャリア学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	21	金融リテラシー入門
1年	51	ゼミナールⅠ
1年	56	ゼミナールⅠ
1年	57	ゼミナールⅠ
2年	97	ゼミナールⅡ

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-1-FC0-09		
	●	●		●				
科目名	金融リテラシー入門				単位認定者	松崎 陽子		
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	必修	1年	開講時期	前期	評価の方法	試験(筆記)	40%
					授業形態		講義	授業内課題等
				授業回数				受講態度
							15回	
授業の概要	金融に関する基礎知識を学び、金融庁の指針(「金融リテラシーマップ」)に沿って短期大学生に必要とされる金融リテラシーを身に付ける。金融商品、生命保険・損害保険について理解し、将来的に自分自身の生活設計が出来るレベルを目指す。							
到達目標	金融商品を理解して自分自身で運用できる知識を獲得し、為替、複利の計算の仕方をマスターする。							
学修者への期待等	講義だけでなく、自分で主体的に調べる作業を通して金融についての基礎的知識・考え方を身に付けていくので、積極的に授業に参加して欲しい。							
回	授業計画				準備学修			
1	授業ガイダンス。テキスト配布や課題についての説明				【事後】金融庁のホームページを見る(概ね30分)			
2	【遠隔】ライフプランを描こう(1)計画的にお金を使う				【事前】金融広報中央委員会HP「知るぽると」を見る(概ね30分)			
3	【遠隔】ライフプランを描こう(2)「働く」を考える				【事後】授業内課題No.1.自分の将来プランを考える(概ね1時間)			
4	賢い消費者になろう(1)消費者トラブルから身を守る				【事前】消費者庁のHPを見る(概ね30分)			
5	賢い消費者になろう(2)お金を借りるということ				【事後】授業内課題No.2.消費者庁HP「悪質商法」を見て事例から1つを選び、レポートを作成、次週の授業で提出する(概ね30分)			
6	【遠隔】金融リテラシーとは何か、金融リテラシー検定の解説				【事後】金融リテラシー検定について調べる(概ね30分)			
7	金融・経済の仕組みを理解しよう(1)金融の仕組み				【事前】日本証券業協会HPの動画No.2を見る(概ね30分)			
8	【遠隔】金融・経済の仕組みを理解しよう(2)経済の仕組み				【事前】金融庁のホームページを見る(概ね30分)			
9	中間確認テスト、自己採点、重点項目の解説				【事後】テストで不正解だった箇所を復習(概ね1時間)			
10	【遠隔】金融商品・保険を活用しよう(1)金融商品				【事前】授業内課題No.3自分にかかった教育資金を調べレポートとして作成。次週の授業で提出する(概ね1時間)			
11	金融商品・保険を活用しよう(2)生命保険・損害保険				【事前】自分が加入している保険を調べる(概ね30分)			
12	【遠隔】支え合う社会の仕組みを知ろう(1)社会保険制度				【事前】社会保険庁のHPを見る(概ね30分)			
13	支え合う社会の仕組みを知ろう(2)税金・社会保険料				【事前】国税・地方税の種類を調べる(概ね30分)			
14	【遠隔】複利と為替の計算をマスターする				【事前】事前配布の資料に目を通しておく(概ね30分)			
15	振り返りテスト、自己採点、重点項目の解説				【事後】テストで出来なかった箇所を復習(概ね1時間)			
教科書	『お金と暮らしのトリセツ～未来をいきる金融リテラシー』 一般財団法人金融財政事情研究会編・発行 ※無償で提供されるため、第1回目の授業で配布する							
参考文献	『金融商品なんでも百科』監修 伊藤 宏一 金融広報中央委員会編・発行							
備考	講義は対面と遠隔(オンデマンド)の両方で行う。 授業内課題として、ワークシートやミニレポートを提出することが含まれる。授業内で取り組んだ課題は、講義の中で解説を行う。							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●		

科目ナンバリング
BC-4-SEM-09

科目名	ゼミナールⅠ				単位 認定者	薄葉 祐子		評価 の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	

授業の概要
前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。

到達目標
①会社という組織と人の関わり方や、組織のなかの人間行動に関する基本的な知識を得る。
②キャリア初期（入社から管理職になるまで）、ならびにキャリア中期（会社組織の中堅として活躍する期間）に個人が組織内で直面する課題を学んだ理論をもとに説明できる。

学修者への期待等
・企業の人事施策、キャリア施策に興味、関心を持つ学生を歓迎する。参加する学生にはディスカッションからの気づきを得ながら、自分のキャリアをデザインするための基礎力を身に付けてほしい。
・講義を通じて個人のキャリアステージのその時々で、直面する問題や組織に対する向き合い方が異なることについて理解してほしい。

回	授業計画	準備学修
1	授業ガイダンス、グループワーク	【事前】 シラバスを読んで準備する(概ね30分)
2	「キャリアを考える」：なぜ働くのか、会社で働くことと個人で働くことの違い	【事前】 教科書第1章のレジюме作成(概ね1時間)
3	キャリアとは何か (2年生：ゼミナールⅢ -3回目と合同)	【事後】 授業内課題1_報告レポート(概ね1時間)
4	「入社する」：就職した先輩の雰囲気が変わる理由、組織と仕事への適応	【事前】 教科書第2章のレジюме作成(概ね1時間)
5	「会社と仕事に慣れる」：仕事意欲、どうすれば仕事にのめり込めるだろうか	【事前】 教科書第3章のレジюме作成(概ね1時間)
6	「人事異動」：自分のキャリアをどのように管理すればよいのか	【事前】 教科書第4章のレジюме作成(概ね1時間)
7	「部下を持つ」：部下をイキイキさせるリーダーシップとは	【事前】 教科書第5章のレジюме作成(概ね1時間)
8	「部内をまとめる」：なぜ集団は時にひどい意思決定をしてしまうのか	【事前】 教科書第6章のレジюме作成(概ね1時間)
9	フィールドワーク	【事前】 フィールドワークの準備(概ね1時間)
10		【事後】 授業内課題2_報告レポート(概ね1時間)
11	「トラブル発生」：ダイバーシティ・マネジメント	【事前】 教科書第7章のレジюме作成(概ね1時間)
12	「あこがれの経営企画室へ」：組織デザイン	【事前】 教科書第8章のレジюме作成(概ね1時間)
13	「部長たちの奮闘」：企業を取り巻く環境とはどのようなものか	【事前】 教科書第9章のレジюме作成(概ね1時間)
14	合同演習(2年生：ゼミナールⅢ -14回目と合同)	【事後】 授業内課題3_評価シート(概ね1時間)
15	「ビジネスのさらに先へ」：企業と社会のかかわりはビジネスだけなのか	【事前】 教科書第12章のレジюме作成(概ね1時間)

教科書 『キャリアで語る 経営組織—個人の論理と組織の論理』 稲葉祐之・井上達彦・鈴木竜太・山下勝著、有斐閣

参考文献 講義内で適宜紹介する。

備考
1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。
2. 授業冒頭でニュース、重要経済指標の発表をする。
3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。
4. 講義終了時に振り返りレポート（講義内容の要点とそれに対する感想）を作成して提出すること。
5. 授業内で提出した課題は、次回講義でまとめて講評する。
6. グループワーク中心の授業であり、適宜ディスカッションを交えて議論を深める。受講に際して心配や不安なことがある場合は、担当教員に相談すること。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-4-SEM-09				
	●	●	●							
科目名	ゼミナール I				単位認定者	伊藤 典博		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	BC 学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
						授業回数	15 回			
授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。									
到達目標	創造力を育み視覚的なデザイン表現によって地域や社会課題など、さまざまな事柄への提案スキルを習得する。									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ・映画、写真、アート、文学、漫画、建築、音楽など芸術・デザイン領域に関心を持つ学生を歓迎する。 ・日頃から、見ること、読むこと、描くこと、つくること、に関心を持つ学生を歓迎する。 ・グループワークによる取り組みを実践することから全コマ出席する意思を求める。 									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス（授業の進め方、評価方法について） 自己紹介・デザイン事例等				【事後】配布資料の内容を復習する（概ね30分）					
2	セルフプロデュースと相互理解				【事前】自己紹介デザインシート作成（概ね60分）					
3	仙台を舞台にした聖地巡礼① アニメや漫画ファンが作品舞台に与える地域波及効果				【事前】デザイン資料の内容を復習（概ね60分）					
4	仙台を舞台にした聖地巡礼② 作品舞台の現地調査を通じて地域の魅力を発信する				【事前】演習テーマについて予習（概ね60分） 【事後】演習の振り返り（概ね60分）					
5	グループワークとデザインレポート				【事前】レポートについて予習（概ね60分） 【事後】授業で指示（概ね60分）					
6	広告写真の体験学習① プロカメラマンによる広告写真のPR効果を考察する				【事前】デザイン資料の内容を復習（概ね60分）					
7	広告写真の体験学習② 広告写真の被写体を通じてデザインの魅力を発信する				【事前】演習テーマについて予習（概ね60分） 【事後】演習の振り返り（概ね60分）					
8	仙台市 彫刻のあるまち事業① 魅力ある地域のまちづくり事業を考察する				【事前】デザイン資料の内容を復習（概ね60分）					
9	仙台市 彫刻のあるまち事業② 彫刻作品の現地調査を通じて地域の魅力を発信する				【事前】演習テーマについて予習（概ね60分） 【事後】演習の振り返り（概ね60分）					
10	グループワークとデザインレポート				【事前】レポートについて予習（概ね60分） 【事後】授業で指示（概ね60分）					
11	東北の民藝と手しごと① 受け継がれる生活の道具から暮らしの美術を考察する				【事前】デザイン資料の内容を復習（概ね60分）					
12	東北の民藝と手しごと② 民藝作品に触れ、地域の魅力を発信する				【事前】演習テーマについて予習（概ね60分） 【事後】演習の振り返り（概ね60分）					
13	グローバルデザイン① 地域の歴史や文化、自然等のデザイン活用を考察する				【事前】デザイン資料の内容を復習（概ね60分）					
14	グローバルデザイン② 地域の歴史や文化、自然等のデザイン活用を発信する				【事前】演習テーマについて予習（概ね60分） 【事後】演習の振り返り（概ね60分）					
15	総括：デザインレポートとプレゼンテーション				【事前】レポートについて予習（概ね60分） 【事後】授業で指示（概ね60分）					
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。									
参考文献	講義内で適宜紹介する。									
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。 2. デザイン領域におけるメディアに関する知識が必要となるため「メディアデザイン論」を履修すること。 3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。 4. 講義終了時にデザインレポート（講義内容の要点とそれに対する感想）を作成して提出すること。 5. 授業内で提出した課題は、次回講義で解説・フィードバックする。 6. グループワークによるディスカッションを交えて議論を深める。 									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

現役でデザイン業務に従事している教員が、社会で求められるデザイン力を意識した指導を行います。
 広告代理店・デザイン会社等でのデザイナー経験あり。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-4-SEM-09				
	●	●	●							
科目名	ゼミナール I				単位認定者	佐々木 仁		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
							授業回数			15 回
授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。									
到達目標	①医療に関わる職種と組織について理解を深めることができる。 ②医療を取り巻く環境と、その背景について理解を深めることができる。 ③フィールドワーク（医療機関見学予定）を通じて、医療機関の役割と医療事務職のやりがいを認識することができる。									
学修者への期待等	本ゼミでは主体性・協調性を重要視しており、積極的に目標に向かって取り組む姿勢を期待する。フィールドワークにおいて医療機関の見学を予定しており、身だしなみ（スーツ等）やマナー等の基本事項をしっかりと守ることができる学生を望む。 A 4 ファイル・電卓等が必要（授業内で指示）となる。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業概要、自己紹介、ゼミの進め方とルール、評価方法など 医療資源（物的資源、人的資源、財的資源、情報資源）				【事前】 シラバスを読んでくる（概ね30分） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
2	医療に関わる職種と医療機関				【事前】 医療に関わる職種について調べてくる（概ね30分） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
3	【ケーススタディ】 職業理解① 医療機関の組織				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
4	【ケーススタディ】 職業理解② 医療事務職の1日と1カ月				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
5	【ケーススタディ】 医療を取り巻く環境① 国民医療費の現状と将来				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
6	【ケーススタディ】 医療を取り巻く環境② 医療の需要と供給				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
7	【ケーススタディ】 地域医療 医療提供構造、医療計画と医療圏				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
8	【ケーススタディ】 医療関連法規 医療法、医師法、両担当規則				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
9	【ケーススタディ】 医療機関と個人情報保護法 個人情報の定義と情報漏洩時のリスク				【事前】 テーマについて事前に調べておく（概ね1時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
10	フィールドワーク事前指導① 医療機関見学の目的、見学時のマナー				【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
11	フィールドワーク事前指導② 報告書類と発表の流れ、インタビュー内容の整理、経路確認				【事前】 マナー・身だしなみチェック（概ね30分） 【事後】 見学内容確認（概ね1時間）					
12	フィールドワーク事前指導③ 報告会資料の構成検討				【事前】 マナー・身だしなみチェック（概ね30分） 【事後】 見学内容確認（概ね1時間）					
13	【フィールドワーク】 医療機関見学①				【事前】 見学先経路・身だしなみのチェック（概ね30分） 【事後】 フィールドワーク報告書作成・提出（概ね2時間） ※2コマ連続で活動する					
14	【フィールドワーク】 医療機関見学②									
15	フィールドワーク報告会 医療機関見学についてグループ報告				【事前】 報告会資料の作成（概ね3時間） 【事後】 課題レポートを完成させる（概ね1時間）					
教科書	講義にてレジュメを配布									
参考文献	適宜紹介する。									
備考	入ゼミ希望者が多数の場合、入ゼミ試験を行う場合がある。 受講者の理解度や見学先の受入れ状況等により、講義・フィールドワークの内容を変えることがある。 課題レポートの提出方法は授業で適宜指示。次回授業時に解説等のフィードバックを行う。 授業テーマによって、適宜ディスカッションを行う。 医療機関への就職を希望する学生には、別途医療事務の強化補講等を開講する。（春休み等、学生と相談の上決定する）									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

医療機関・医療事務系専門学校での実務経験・指導歴、検定作問委員の経験を活かし、医療現場で即戦力となる人材育成を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-4-SEM-11				
		●	●	●	●					
科目名	ゼミナールⅢ				単位 認定者	薄葉 祐子		授業内 課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の 方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生活に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。									
到達目標	①日本におけるダイバーシティマネジメントの現状と課題を理解できる。 ②社会調査データの分析、考察をすることができる。 ③ゼミ活動報告書を自分たちで作りに上げることができる。									
学修者への 期待等	・主体的にニュースや新聞記事、報告書等を読み、各自の関心テーマを深めてほしい。 ・ゼミを通して視野を広げ、仲間と助け合い、尊重し合いながら活動してほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業ガイダンス、ダイバーシティについて				【事後】研究テーマの検討(概ね1時間)					
2	研究内容検討① 研究計画書作成				【事後】研究計画書を完成させる(概ね1時間)					
3	キャリアとは何か (1年生:ゼミナールⅠ-3回目と合同)				【事後】授業内課題1_報告レポート(概ね1時間)					
4	研究内容検討② 分析用の社会調査データの確認				【事後】分析に用いる社会調査データのリストを作成(概ね各1時間)					
5	データ分析① 社会調査データ分析				【事後】社会調査データの分析結果の取りまとめ(概ね各2時間)					
6	データ分析② 社会調査データ分析(続き)									
7	データ分析③ 分析結果の考察				【事後】考察を記述(概ね各1時間)					
8	データ分析④ 分析結果のまとめ				【事後】考察を記述(概ね各1時間)					
9	フィールドワーク				【事前】フィールドワークの準備(概ね1時間)					
10					【事後】授業内課題2_報告レポート(概ね1時間)					
11	研究報告書の作成				【事後】研究報告書を完成させる(概ね各2時間)					
12	研究発表会のプレゼン資料の作成① 発表スライドの作成				【事後】発表スライドを完成させる(概ね2時間)					
13	研究発表会のプレゼン資料の作成② 説明資料の作成、発表練習				【事後】発表会準備(概ね2時間)、 質疑応答についての回答準備(概ね2時間)					
14	研究発表会 合同演習 (1年生:ゼミナールⅠ-14回目と合同)				【事前】発表練習(概ね1時間) 【事後】授業内課題3_発表資料、自己評価シート、相互評価シート(概ね1時間)					
15	ゼミ活動の学びを振り返る				【事後】振り返りレポートの提出(概ね30分)					
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。									
参考文献	講義内で適宜紹介する。									
備考	1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。 2. 授業冒頭でニュース、重要経済指標の発表をする。 3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。 4. 講義終了時に振り返りレポート(講義内容の要点とそれに対する感想)を作成して提出すること。 5. 授業内で提出した課題は、次回講義でまとめて講評する。 6. グループワーク中心の授業であり、適宜ディスカッションを交えて議論を深める。受講に際して心配や不安がある場合は、担当教員に相談すること。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--